

## 「100年の森林づくり」加速化推進事業（新規）

【平成19年度概算決定額 35,000(0)千円】

### 対策のポイント

我が国の人工林を、今後100年先を見据えながら広葉樹林や針広混交林、複層林など多様な森林に積極的に誘導することとし、そのための条件整備を行います。

#### （100年の森林づくりとは）

100年の森林づくりとは、地域の特色やニーズに応じ、50年サイクルで皆伐・植栽を繰り返す従来の森林づくりだけでなく、100年先を見据え、単層状態の人工林を広葉樹林、針広混交林、長伐期林等の多様な森林へと誘導していくことを目指した森林づくりのことです。

#### （針広混交林とは）

針広混交林とは、針葉樹と広葉樹が適度に混じり合った森林のことです。

#### （複層林とは）

複層林とは、樹齢や樹高の異なる樹木によって構成された森林のことです。

### 政策目標

「100年の森林づくり」のための条件整備を2年間で50箇所を実施

#### <内容>

##### 「100年の森林づくり」を高度化・加速化させるための条件整備の実施

公募により選定した地域において、「100年の森林づくり」を実現するための課題の整理と解決方法の解明等を実施し、その取組により得られた多様な森林整備をより効果的かつ着実に推進するためのノウハウや手法を、全国に発信していきます。

具体的には、以下の取組への支援を行います。

- ① 多様な森林へ誘導するための各種の施業や路網整備の最適配置に関するランドデザインの検討
- ② 多様な森林整備への積極的な取組についての地域関係者のコンセンサスの醸成

#### <補助率>

定額

#### <事業実施主体>

民間団体等

#### <事業実施期間>

平成19年度～20年度（2年間）

[担当課：林野庁整備課]